

平成 30 年度

事 業 報 告 書

## 平成30年度 事業実績

### I. 事業実績

(公益財団法人として)

平成30年度は、公益財団法人移行後9期目であるとともに、世田谷区(以下「区」という。)より受託した区立保健センター並びに区立総合福祉センターの指定管理第4期目(平成29年度～30年度)の最終年度であった。

当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(後期)(平成30年度～平成33年度)に基づき、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取り組みの拡充、利用者視点に立った障害福祉事業の展開とともに、地域医療機関への後方支援の強化や総合福祉センター事業の梅ヶ丘拠点(以下「うめとぴあ」という。)への円滑な機能移行に向けた取り組みを行ってきた。また、平成27年12月に策定した「保健センター経営ビジョン(第二次)」に基づく財団改革を着実に進め、新たな事業を展開するとともに、区の外郭団体としてより一層の自主・自立性を高めるため、収益事業の拡充など経営基盤の安定化や信頼性の向上、経営の効率化に向けて取り組んだ。

一方、区民に親しまれ信頼される事業運営をめざし、ホームページの法人情報(役員名簿や財務諸表、例規類集など)を常に更新するなど、公益財団法人としてのディスクロージャー(情報開示)に努めている。また、広報紙「げんき人」による健康情報の提供や、健康度測定データを活用した健康づくりの啓発資料等の情報発信も行ってきた。

財務面では、公益法人会計基準に基づき収支相償の達成に向け公益目的事業を補完する収益事業での収入確保に努めた。さらに、公認会計士による毎月の会計指導や中間期の財務状況を的確に把握するための期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向け取り組んだ。引き続き厳しい状況下にある財団財務の改善を目指し収益事業の業績改善や一層の効率的な事務運営と支出抑制に努めている。

区が策定した「梅ヶ丘拠点整備プラン」に基づき、令和2年度(2020年度)開設予定の新たな区立保健センターの管理運営を今後も引き続き当法人が担うにあたり、区民の健康の保持増進と区民福祉の向上に寄与するという法人の目的を改めて認識し、うめとぴあでの保健・医療・福祉の拠点機能の強化や健康づくり事業の地域展開の拡充を進めていく。また、将来を見据えた先駆的な施策等を構築できる職員の育成も課題とし、関係団体等様々な方面からの意見も取り入れ、法人の設立目的の達成に向けて経営改革を進めていく。

## (財団運営の状況)

保健センターの事業の充実を図るため、利用者の意見等を運営に反映させるためのアンケートを継続的に実施している。それを分析することで利用者増、収入増に向けた取り組みを行うとともに、医療事業運営委員会などからの意見・要望や日頃の医療機関から寄せられる声を事業の改善に活かしてきた。

保健センターの広報活動では、区内全域の新聞折込み等による健康情報紙「げんき人」の配布をはじめ、「保健センターまつり」における事業の案内、健康情報の提供、がん検診の過去の受診者に対する勧奨などを行った。さらに、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を活用した区民等への情報発信のほか、FMせたがやとタイアップし健康情報のラジオ放送を実施した。また、新規開業医療機関や保健センター利用の少ない医療機関を訪問し、事業の紹介などのPRにも力を注いだ。

がん検診事業では、従来から実施している「胃がんエックス線検診」に加え、「胃がん内視鏡検診」を年度当初より行った。また、区内医療機関での胃がん内視鏡検診の円滑な実施のために設置された「内視鏡検診運営委員会」の事務局支援を行なった。さらに年間を通して「胃がん検診受付センター」を運営し、窓口業務の定着を行った。

健康増進事業では、所内においては各種検査と個別指導を組み合わせた健康度測定や健康づくりを支援する多様な講座・教室を開催した。地域での健康づくり支援として、区の健康づくり事業や区民主体の健康づくり活動に運動指導員、管理栄養士、保健師等の専門職員を派遣した。さらに、男性の地域参加を促すため「男性のための自主団体」立ち上げの支援を行った。また、長期継続自主団体を支援する地域交流会の開催や地域健康出前講座等を実施した。

健康教育事業では、運動継続の支援として、体力や興味に合わせた多彩な運動コースやマシントレーニングを通年で実施した。また、出張指導の介護予防事業では筋力アップ教室等の開催や保健センターで開発した「世田谷いきいき体操」を地域づくりによる介護予防として普及を図った。

医療事業では、高度医療機器の活用として、新たにMRIにおけるEOB（肝細胞特異性を有する造影MRI）検査の開始や精密検査の当日検査予約に加え、医療機関の依頼に基づいた患者本人からの予約受け入れも開始し、地域医療の後方支援機能の強化と利便性の向上を図った。さらに、超音波診断装置の機器更新を行い、より精度の高い診断を実現した。

総合福祉センターの事業では、世田谷区立総合福祉センター機能業務移行計画に基づき、通常の業務を行いながら民間施設棟運営事業者への療育・訓練業務の引継ぎ及び利用者（児）の移行を丁寧な連携のもと着実に進めた。平成31年3月31日での総合福祉センターの閉所に伴い、民間施設棟運営事業者及び保健センターへの機能移行及び移転を無事完了した。

## 1 公益目的事業

### 公益 1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

#### (1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

#### (2) がん検診事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

##### ① 保健センター及び検診車における胃がん (エックス線及び内視鏡) 検診

保健センターでは、平成 29 年 5 月より世田谷区胃がん検診受付センターを開設し、世田谷区の胃がん検診全般の受付業務を世田谷区より受託した。

世田谷区は 40 歳以上の区民 (1 年に 1 回) を対象にした保健センター施設内およびデジタル撮影システムの検診車におけるエックス線撮影による胃がん検診と、50 歳以上の区民 (2 年に 1 回) を対象にした内視鏡による胃がん検診を指定医療機関に委託して行っている。

保健センターは、指定医療機関 (区内 83 機関のひとつ) として区から委託を受け、内視鏡による胃がん検診を平成 29 年 10 月より開始している。また、検診の結果により、必要な区民に対しては、医療機関と連携し、精密検査の受診を勧奨するとともに、胃がん検診の精度管理も担っている。

[表 1]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
胃がん検診 (X線)	回数	530回	477回	90.0%	620回	537回	641回		
	受診者数	10,000人	4,884人	48.8%	11,000人	6,278人	10,784人		
	がん発見数	—	6人	—	—	13人 (11人)	12人 (8人)		
胃がん検診 (内視鏡)	回数	—	41回	—	—	20回	—		
	受診者数	200人	197人	98.5%	100人	106人	—		
	がん発見数	—	3人	—	—	3人	—		
精度管理 (精密)		1,700人	566人	33.3%	1,700人	681人 (487人)	1,164人		

※ 【胃エックス線検診】申込数 5,229 人 (受診率 93.4%)、要精検数 676 人 (要精検率 13.8%)

【胃内視鏡検診】申込数 197 人 (受診率 100.0%)、要精検数 4 人 (要精検率 2.0%)

※ がん発見数は平成 31 年 3 月末日現在の人数である。なお、前年までの各年 3 月末時点における実績は ( ) に記載のとおり。

※ 精度管理 (精密) の実績は、30 年度中に記録処理を行った数である。なお、前年までの各年 3 月末時点における実績は ( ) に記載のとおり。

② 保健センターでの乳がん検診

世田谷区では40歳以上で偶数年齢の女性区民(2年に1回)を対象として視触診とマンモグラフィ(乳房エックス線撮影)の併用受診を指定医療機関に委託して行っている。

保健センターでは、視触診を地域医療機関で受け、マンモグラフィのみを受診する場合と、視触診・マンモグラフィを同日に行う場合の2つの受診パターンに対応可能な体制を整えて検診を実施している。

[表2]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
乳がん検診	回数	200回	180回	90.0%	200回	213回	169回		
	マンモグラフィ	430人	309人	71.9%	430人	340人	388人		
	視触診・マンモグラフィ	1,000人	1,118人	111.8%	1,000人	1,074人	1,060人		
精度管理(精密)		80人	66人	82.5%	80人	128人	146人		

※ マンモグラフィ申込数 315人(受診率 98.1%)、要精検数 45人(要精検率 14.6%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 1,137人(受診率 98.3%)、要精検数 145人(要精検率 13.0%)

※ 精度管理(精密)の実績は、30年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

#### ① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、トータルな健康づくりを目指し、運動・栄養・休養指導を充実させた専門性の高い教室と、体験から実践までのニーズに応じた多様な教室・講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室を開催した。

[表3]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	83回	—	—	81回	83回	
	人数	1,680人	1,565人	93.2%	1,680人	1,626人	1,679人	
健康度再測定	人数(再掲)	—	21人	—	—	37人	51人	
運動負荷測定	回数	—	41回	—	—	42回	44回	
	人数	150人	112人	74.7%	150人	135人	148人	
健康増進指導	回数	—	407回	—	—	416回	417回	
	人数	10,600人	11,314人	106.7%	10,600人	11,530人	11,806人	
壮年期健康づくり教室 (夜間・土曜)	回数(再掲)	50回	50回	100.0%	48回	48回	48回	

※ 健康度測定受診総数 1,565 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理) 1,499 人、栄養指導(食生活改善) 1,484 人、運動指導(活動・運動方法) 1,494 人を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 112 人のうち、運動処方参加者 25 人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 182 回(参加数 4,323 人)
- ・心とからだの癒しと元気 20 回(参加数 395 人)
- ・食での健康 16 回(参加数 305 人)
- ・からだの元気 139 回(参加数 4,827 人)
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 50 回(参加数 1,464 人)

② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

実地指導では、各総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催される健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、世田谷区生活習慣病対策検討会や世田谷区地域の食環境づくり推進部会へ運動指導員・栄養士等の専門職員を派遣した。また、長期継続自主団体を支援するため地域交流会を開催するなど、区民主体の健康づくり活動を支援した。

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防の意識を高める講座を開催した。

壮年期対象地域講座では、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携のほか、平成30年度は多くの児童館との連携により、若い世代の父母に向けた健康づくり講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりとして、平成26年度から実施しており、プログラムの多様化を図って提供を行った。

[表4]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
実地指導	派遣数	1,130回	1,189回	105.0%	1,100回	1,142回	1,102回		
	指導人数	—	18,688人	—	—	18,509人	18,483人		
健康づくり支援	回数	100回	92回	92.0%	100回	110回	102回		
地域健康出前講座	回数	20回	18回	90.0%	20回	18回	23回		
	人数	—	385人	—	—	384人	451人		
壮年期対象地域講座	回数	8回	10回	125.0%	8回	8回	8回		
	人数	—	114人	—	—	118人	88人		
職場のげんき力アップ	件数	5社	2社	40.0%	5社	7社	1社		

③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、「せたがや元気体操リーダー」を派遣し健康づくり活動を支援した。「せたがや元気体操リーダー」は、区民ボランティアリーダーとして、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

30年度は、前年度に養成したリーダーを中心に、希望するリーダーに対して、中高年齢のグループに、中等度のプログラム提供が可能となるよう上級リーダー養成を実施した。また、登録リーダー70名を対象に指導技術の維持向上を図るため、研修会や交流会、指導実習を実施した。

[表5]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数	隔年実施	—	—	10人	11人	—	
上級リーダー養成	人数	10人	11人	110.0%	隔年実施	—	10人	
研修会(講座)	回数	10回	10回	100.0%	10回	10回	10回	
研修会(指導実習)	人数	30人	30人	100.0%	30人	29人	30人	
リーダー交流会	回数	6回	6回	100.0%	6回	6回	6回	
リーダーによる実地指導	回数	320回	319回	99.7%	320回	318回	319回	

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、重度化予防のための事業として地域出張健康測定・個別相談会・派遣型集団指導のほか、地区医師会や国保年金課・全国健康保険協会東京支部(協会けんぽ)と連携した重症化予防対策を展開した。

30年度の重症化予防対策の「個別指導」については、「派遣型集団指導」を受講し、さらに個別指導を希望する方や「派遣型集団指導」の欠席者を対象とした。

[表6]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域出張健康測定・個別相談会	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	4回	
	人数	—	83人	—	—	60人	73人	
重度化予防の実践セミナー	回数	—	—	—	3回	3回	3回	
	人数	—	—	—	—	40人	42人	
重症化予防対策	集団指導	回数	—	—	—	3回	3回	3回
		人数	—	—	—	—	0人	1人
	派遣型集団指導	回数	8回	8回	100.0%	5回	5回	5回
		人数	—	67人	—	—	44人	34人
	個別指導	人数	20人	4人	20.0%	20人	1人	4人



#### (4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。

保健センター主催の講演会では、視覚障がい者ガイドランナーの講師を招き「ゆっくり走れば速くなる」を開催した。また、心の健康づくり講習会では、駒澤大学より講師を招き「坐禅」を、コミュニケーションの講師を招き「戦わないコミュニケーション」をテーマとした講習会を開催した。

[表7]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための 健康教室	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		—	1,177人	—	—	1,084人	1,278人
区民のための 糖尿病教室	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	10人	—	—	11人	9人
歯っぴい& 健康フェスタ	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	494人	—	—	607人	1,041人
くすりと健康の つどい	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	249人	—	—	336人	377人
薬の講演会	回数		1回	0回	0.0%	1回	1回	1回
	人数		—	0人	—	—	33人	20人
心の健康 づくり講習会	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	149人	—	—	87人	95人
講演会・ 講習会	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	37人	—	—	95人	84人

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報紙「げんき人」の発行、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙「げんき人」は引き続きタブロイド判の充実を図るため、2P仕様の発行3回に加えて情報量の増を図った4P仕様を1回発行し、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。また、SNSを使った広報を開始し、若年利用者増に向けた情報発信を行った。

『平成Jump 未来へJump みんなでJump』をテーマとしたイベント「第9回 保健センターまつり2018」を9月30日（日）に開催、健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、係の枠を超えた実行委員会形式で企画・運営を行った。より多くの区民へのアプローチとして、嗅覚のチェックや体成分分析測定などのほか、社交ダンスやチアダンス、ヨガなどの体験企画、また近隣小学校等を通じて周知を行い、子ども向け体験ミッションを企画した。さらに、手洗い実践など、大人も子どもも知っておくと役立つ体験や医療に興味を持ってもらえるよう、白衣等を着用して写真撮影を行えるブースを開設するなど、若い世代にアピールする企画も充実させた。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰なども同時に実施した。

[表8]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
健康情報紙「げんき人」の発行	タブロイド判 2P	4回	3回	100.0%	4回	3回	4回		
	タブロイド判 4P		1回			1回	—		

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
30. 5. 1 (第94号)	せたがや健康のつどい in 烏山 ほか	タブロイド判 2ページ 259,000部
30. 7. 1 (第95号)	知ってる?乳がんのこと! 俺たちの居場所を作ろう! ほか	タブロイド判 4ページ 259,000部
30. 9. 15 (第96号)	第9回 保健センターまつり2018 ほか	タブロイド判 2ページ 259,000部
31. 3. 1 (第97号)	「健康度測定」で自分の生活習慣をチェックしてみませんか? ほか	タブロイド判 2ページ 259,000部

[表 9]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	2,097人	—	—	2,106人	1,682人

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・ボッチャ体験	80人	・薬の相談コーナー	30人
・五輪音頭	50人	・スマイルエクササイズ	185人
・体成分分析測定	131人	・栄養バランスチェック	118人
・協会けんぽ血管年齢測定	192人	・科学者体験	19人
・嗅覚チェック	90人	・アロマ体験	150人
・アロマハンドマッサージ	106人	・子ども教室、子どもコーナー	115人
・日本光電物忘れチャック	100人	・クイズラリー、記念写真	183人
・長期継続グループ表彰	10人	・企業協賛ブース	515人
・ポールウォーキング(屋外)	23人		

### ③ 健康教育指導と出張指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、10種類の運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを通年で開催した。

また団体支援として、介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣した。特に「地域づくりによる介護予防」は、対象を区内全域に拡大し、おもりを使った保健センターオリジナルの「世田谷いきいき体操」を地域づくりの中で広めることに努めた。その他にも区の職員厚生課の依頼による「腰痛予防講座」やまちづくりセンターなどの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 10]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	499回	124.7%	400回	394回	396回
	人数		—	18,087人	—	—	17,617人	17,516人
マシン トレーニング	回数		—	1,216回	—	—	1,216回	1,211回
	人数		12,500人	13,368人	106.9%	12,500人	14,033人	13,857人

※ 運動コースでは「ゆったり気功体操」「チャレンジ太極拳」「エンジョイフラダンス」「わくわく体操」「さわやかヨガ」「すこやか体操」「ステップエアロ」「ファイティングエアロ」「骨コツ筋力アップ」「サーキットトレーニング」の10コースを実施。

[表 11]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	介護予防筋力アップ教室	回数	3 教室	3 教室	100.0%	3 教室	3 教室	2 教室
		人数	—	256 人	—	—	232 人	213 人
	地域づくりによる介護予防	団体数	10 団体	3 団体	30.0%	10 団体	12 団体	12 団体
	普及啓発講座(はつらつ講座)	地区数	2 地区	2 地区	100.0%	2 地区	2 地区	2 地区
	その他の出張指導	派遣人員	40 人	29 人	72.5%	40 人	33 人	37 人
		参加人員	—	1,004 人	—	—	988 人	1,196 人

## ④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学講師等と内容を協議した講習会の開催、病院の地域医療連携室等との事業関連の研修企画など、幅広い連携を図った。

また、保健センターまつりにおいて、健康づくりの活動を20年継続している区民の自主グループに対して表彰を行った。

[表 12]

事業項目	年度	30年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校 実習受入	30年 5月～11月
		駒澤大学仏教学部禅学科／坐禅講座講師派遣	30年 6月 2日
		東京農業大学 実習受入	30年 7月～31年 3月
		日本女子体育大学 実習受入	30年 9月～12月
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入	30年 9月～10月
地域健康づくりグループとの交流		長期継続グループの表彰 (1 団体)	30年 9月 30日

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。保険事業者から対象者へのアプローチを継続しているが、支援数については伸びていない。

[表 13]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
積極的支援	実人数	60人	22人	36.7%	60人	21人	18人		
動機づけ支援	実人数	180人	85人	47.2%	180人	102人	95人		

⑥ 各種相談に対応する取組み

がん患者とその家族などに対して、がんの不安や治療などの各種相談に対応した。

対面相談は看護師による専門相談を第2・4土曜日の月2回、電話相談は毎週木曜日の月4回実施した。電話相談では月4回のうち、看護師による専門相談を第1・3週に、がん体験者によるピア相談を第2・4週に実施した。また、10月と2月には就労世代の支援として社会保険労務士と看護師による就労相談を対面相談と同時に実施した。

さらに、地域での出張相談として、社会保険労務士会世田谷支部の年金・労働相談会と連携し、「がん患者等就労相談—治療と就労の両立—」を11月に実施した。

[表 14]

事業項目			年度		30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
がん相談 コーナー (施設内)	対面相談	回数	24回	23回	95.8%	24回	22回	23回		
		人数	(最大受入数) 72人	19人	—	(最大受入数) 72人	21人	13人		
	電話相談	回数	48回	45回	93.8%	48回	46回	44回		
		人数	(最大受入数) 144人	15人	—	(最大受入数) 144人	22人	27人		
	就労相談	回数	4回	4回	100.0%	4回	4回	—		
		人数	(最大受入数) 8人	3人	—	(最大受入数) 8人	3人	—		
就労相談(地域出張型)		回数	1回	1回	100.0%	—	—	—		

## 公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業 (総合福祉センター事業)

### (1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

### (2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)

世田谷区からの委託に基づき基幹相談支援センターを設置し、年齢・障害の種別に関わりなく、障害者（児）および家族等への相談支援を実施した。

また、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、世田谷区自立支援協議会の事務局を担うとともに、地域相談支援センター連絡会や相談支援事業者連絡会を通し、区内の相談支援体制の連携強化に取り組んだ。

さらに、テーマ別の相談支援人材育成研修と相談支援専門員を養成するための相談支援従事者初任者研修を引き続き実施し、区が進める地域包括ケアの展開に貢献できる地域の相談支援に従事する人材の育成を行った。

指定特定・障害児相談支援事業所については、総合福祉センターにおける障害者総合支援法の自立訓練事業や児童福祉法の児童発達支援事業の利用者を中心に、サービス等利用計画の作成とモニタリングについて実施した。

#### ① 相談支援

[表 15]

事業項目		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数	実人数	200人	42人	21.0%	200人	61人	72人
	延人数	220人	199人	90.5%	220人	151人	115人

② 自立支援協議会の開催

[表 16]

事業項目	年度	30年度			29年度		28年度 実績
		計画	実績	達成率	計画	実績	
自立支援協議会		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
同 運営会議		10回	7回	70.0%	12回	11回	11回

③ 人材育成

[表 17]

事業項目	年度	30年度			29年度		28年度 実績
		計画	実績	達成率	計画	実績	
研修実施		300人	335人	111.7%	300人	452人	376人

④ 指定特定・障害児相談支援事業所の運営

[表 18]

事業項目	年度	30年度			29年度		28年度 実績
		計画	実績	達成率	計画	実績	
サービス等利用計画作成		840件	706件	84.0%	840件	754件	712件

### (3) 機能訓練事業（定款第4条第2号事業）

#### ① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者総合支援法に位置づけられない指導・訓練のほか、障害者総合支援法に基づく自立訓練の契約開始までの指導・訓練や契約終了後のフォローを行った。平成30年度は、梅ヶ丘拠点民間施設棟への機能移行を踏まえ、個別訓練での評価、フォローアップに重点を置いて取り組んだ結果、個別訓練の延人数が増加し、グループ訓練の延人数が減少した。

[表 19]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
成人機能訓練	個別	実人数	500人	431人	86.2%	500人	435人	454人
		延人数	2,000人	2,234人	111.7%	1,600人	1,971人	1,870人
	グループ	実人数	40人	32人	80.0%	40人	40人	29人
		延人数	700人	145人	20.7%	200人	174人	109人

#### ② 障害者総合支援法 自立訓練

生活の自立促進と質の向上等を図るため、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。平成30年度は、当初の計画に比較して利用者が増えたため、個別訓練、グループ訓練とも計画を上回る実績となった。また、自立訓練事業廃止に伴う説明や移行については、梅ヶ丘拠点民間施設棟職員と連携し取り組んだ。

[表 20]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練	個別	実人数	60人	54人	90.0%	70人	71人	81人
		延人数	2,300人	2,641人	114.8%	2,500人	3,364人	3,531人
	グループ	実人数	40人	45人	112.5%	50人	46人	48人
		延人数	1,500人	2,154人	143.6%	2,000人	2,116人	2,408人



### ③ 児童機能訓練

発達遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育むため、相談・評価・訓練等を実施した。平成30年度は、個別評価後の集団評価について、対象児童の範囲を拡大するとともに、専門職が連携し、保護者の養育スキルの向上やメンタルヘルスの維持等、保護者支援の拡充に取り組んだ。また、梅ヶ丘拠点区複合棟「乳幼児育成相談」への移行を見据え、相談・評価・コーディネート機能の体制基盤整備を行った。

[表 21]

事業項目		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価							
	実人数	850件	849件	99.9%	850件	832件	874件
	延人数	3,000件	3,154件	105.1%	3,000件	2,965件	2,782件
児童機能訓練 (継続相談)	実人数	600人	822人	137.0%	400人	424人	393人
	延人数	3,000人	3,080人	102.7%	800人	1,319人	1,232人

### ④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育むための療育として、児童福祉法に基づく児童発達支援事業を実施した。平成30年度は、梅ヶ丘拠点民間施設棟への児童発達支援事業の機能移行を踏まえ、民間施設棟運営法人から出向職員や研修生を受け入れ、運営を行った。特に、1月から3月においては、支援情報の引継ぎや保護者との関係構築に努め、円滑な移行をめざした取り組みを行った。

[表 22]

事業項目		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童発達支援事業							
個別	実人数	500人	479人	95.8%	500人	490人	502人
	延人数	4,200人	3,841人	91.5%	5,600人	4,834人	5,027人
グループ	実人数	120人	104人	86.7%	120人	133人	155人
	延人数	2,350人	1,772人	75.4%	3,150人	3,034人	3,289人

#### (4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるように各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助や施設職員等を対象とした研修を行うなどの地域支援を実施した。

[表 23]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
交	流	講習会等参加	2,800人	4,764人	170.1%	2,800人	3,186人	2,441人
技	術	回	580回	529回	91.2%	580回	515回	564回
研	修	人	1,000人	1,416人	141.6%	1,000人	1,171人	1,254人

## 2 収益事業

### 収益1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

#### (1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 24]

事業項目		年度	30年度			29年度		28年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,500件	897件	59.8%	1,650件	1,164件	1,407件	
病理組織検査	件数	550件	220件	40.0%	620件	307件	419件	
大腸								
内視鏡検査	件数	380件	167件	43.9%	380件	224件	264件	
病理組織検査	件数	160件	71件	44.4%	160件	86件	102件	
乳房								
一般撮影	件数	310件	168件	54.2%	310件	180件	185件	
スポット撮影	件数	30件	5件	16.7%	30件	22件	16件	
超音波検査	件数	340件	256件	75.3%	340件	295件	228件	
細胞診検査	件数	30件	11件	36.7%	30件	14件	9件	
子宮								
細胞診検査	件数	150件	149件	99.3%	150件	138件	131件	
内視鏡検査	件数	150件	148件	98.7%	150件	137件	128件	
病理組織検査	件数	150件	147件	98.0%	150件	137件	130件	
MR I 検査	件数	2,300件	1,596件	69.4%	2,300件	1,825件	1,744件	
C T 検査	件数	2,300件	1,753件	76.2%	2,300件	1,929件	1,906件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	280件	274件	97.9%	280件	241件	256件	
心臓								
ホルター心電図	件数	50件	22件	44.0%	50件	36件	35件	
超音波検査	件数	180件	161件	89.4%	180件	172件	157件	

## (2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。子宮がん検診の実績は、受診勧奨の拡大により受診者が増加した。また、大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診との同時受診が可能となった26年度から受診者の減少が継続している。

### ① 子宮

[表25]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
細胞診検査	頸部件数	32,000件	31,649件	98.9%	30,000件	31,370件	30,839件		
	体部件数	3,000件	3,202件	106.7%	4,000件	2,867件	2,745件		
	がん発見数	—	10人	—	—	20人 (6人)	16人 (10人)		

※ がん発見数は平成31年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本3件を含み、このほか再提出として頸部21件(内、前年度再提出2件含む)の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 31,649人、要精検数 637人(要精検率 2.0%)

体部 検査件数 3,202人、要精検数 74人(要精検率 2.3%)

### ② 大腸

[表26]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
便潜血検査	件数	10,000件	6,538件	65.4%	13,000件	7,447件	10,442件		
	がん発見数	—	7人	—	—	13人 (11人)	21人 (12人)		
精度管理(精密)		1,100件	321件	29.2%	1,100件	265件	618件		

※ がん発見数は平成31年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 検査件数 6,538人、要精検数 431人(要精検率 6.6%)

※ 精度管理(精密)の実績は、30年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。地区医師会で実施したがん検診の精度管理業務を拡充していく区の計画にもとづき、5つの対策型がん検診すべての精度管理について集計業務を実施しており、胃がんリスク検査の検査結果管理も平成29年度より実施した。

[表 27]

事業項目		30年度			29年度		28年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数	100人	105人	105.0%	100人	108人	140人
小中学生 結核検診精密検査	人数	250人	355人	142.0%	250人	301人	307人
企業健診	人数	2,500人	2,330人	93.2%	2,500人	2,277人	2,015人
個人健診	人数						338人
脳ドック	人数	180人	187人	103.9%	180人	187人	163人
動脈硬化検査	個人	450人	537人	119.3%	450人	505人	431人
体成分分析測定	人数	100人	180人	180.0%	100人	106人	93人
骨密度測定	人数	250人	349人	139.6%	250人	311人	255人
医師会実施 大腸がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	44,000件	49,914件	113.4%	47,000件	38,094件	61,003件
	精密検査 集計件数	—	1,848件	—	—	1,557件	1,809件
医師会実施 胃がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	8,000件	7,189件	89.9%	200件	258件	119件
	精密検査 集計件数	—	90件	—	—	10件	27件
医師会実施 肺がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	53,000件	63,424件	119.7%	53,000件	46,439件	81,609件
	精密検査 集計件数	—	1,455件	—	—	995件	1,474件
医師会実施 子宮がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	33,000件	36,961件	112.0%	37,000件	26,759件	42,057件
	精密検査 集計件数	—	561件	—	—	406件	452件
医師会実施 乳がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	18,000件	20,596件	114.4%	18,000件	17,645件	23,857件
	精密検査 集計件数	—	1,411件	—	—	1,197件	1,816件
医師会実施 胃がんリスク 検査集計	一次検診 集計件数	9,000件	9,289件	103.2%	9,000件	12,038件	—
	精密検査 集計件数	—	1,196件	—	—	1,101件	—

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、30年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

自宅において安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し、相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。

[表 28]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数			220回	152回	69.1%	250回	142回	163回

**(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

障害のある高齢者がいる施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。

[表 29]

事業項目		年度		30年度			29年度		28年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数			50回	48回	96.0%	50回	58回	41回